CITIZEN

取扱説明書番号
M545-CGXD

室内用

電波時計 取扱説明書
（掛時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

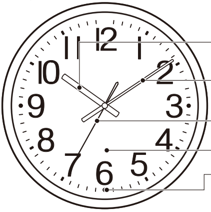
ご使用の際は、巻末の（使用上のご注意）を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものと異なることがあります。

（正面）



時針（短い針）

分針（長い針）

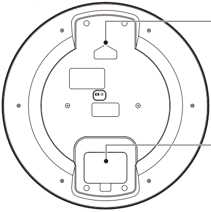
秒針

受信表示ランプ

明暗センサー

（明暗センサーのはたらき）参照

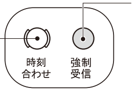
（裏面）



壁掛け部
商品により形状が異なることがあります。

電池ぶた

（裏面操作部）

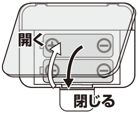


強制受信ボタン

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。

時刻合わせボタン

不用意に押すと時刻が変わります。
標準電波、AMラジオ放送の受信ができないときや任意の時刻に手動で時刻を合わせるときに使います。



電池ぶたを取り外し、単3形アルカリ乾電池（推奨）2個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる。

⚠注意 種類の異なる電池を混ぜて使わない。

ご使用の手順　はじめてお使いになるときは、ここからお読みください。

この時計は正しい時刻に合わせるために次のことを行っています。

① 福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。

② ①が失敗したときには、AMラジオ放送（時報）の受信を試みます。

AMラジオ（推奨NHKの第一放送）がよく受信できる所に掛けてご使用ください。

❶ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

❷ **強制受信**を押す

針は12、4、8時のいずれかに一時停止してから、12時位置まで移動して暫定的に時刻を刻み始めます。

※電池を入れた後は必ず**強制受信**を押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

❸ （**時計の掛けかた**）に従い、時計を確実に掛ける

❹ 15分待って受信結果を確認する

受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。

2秒に1回点滅	：	標準電波の受信に成功。…………正しい時刻を表示
5秒に1回点滅	：	AMラジオ放送の受信に成功。‥正しい時刻を表示
10秒に1回点滅	：	標準電波の受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中
消灯	：	標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない。

（**標準電波ーAMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見かた**）参照

（標準電波ーAMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見かた）

受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。

時間の流れ

①電池を入れて、強制受信ボタンを押す

およそ1秒間受信表示ランプが点灯して、12、4、8時のいずれかに一時停止してから、12時位置まで移動して暫定的に時刻を刻み始めます。

4回点滅：福島局選択　6回点滅：九州局選択　消灯：福島・九州局ともに電波弱

②時刻情報の読み取り中　最長で15分程度……標準電波サーチ機能　受信表示ランプで状態表示

▶点灯：電波良好（受信できる可能性大）　▶消灯：電波の状態が悪い（受信できない）　▶ときどき点灯　電波状態が不安定（受信できない可能性大）

③標準電波の受信結果を表示

2秒に1回点滅：標準電波の受信成功　必要に応じて表示時刻を自動修正する。

10秒に1回点滅：標準電波の受信失敗→AMラジオ放送の受信モードになる。

④標準電波・AMラジオ放送の受信結果を表示

2秒に1回点滅 ： 標準電波の受信に成功。

5秒に1回点滅 ： AMラジオ放送の受信に成功。

10秒に1回点滅 ： 標準電波の受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中

消灯 ： 標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。

＊AMラジオ放送の受信は標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続7日間受信できないときは、AMラジオ放送の受信を停止します。

＊標準電波の受信に成功するとAMラジオ放送の受信は停止します。

＊強制受信ボタンを押すとAMラジオ放送の受信停止が解除されます。

AMラジオ放送について

- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報（プッ、プッ、プッ、ポーン）のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信回数は最少で1日1回、最多で1日6回です。
- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。
- AMラジオ放送の受信状態のときにも、標準電波の受信を試みます。

Ⓐ 電波を受信できない場合

1. 標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない……受信表示ランプ消灯

AMラジオ受信機で、設置した所でAMラジオ放送（推奨NHK第一放送）が明瞭に受信できるかを確かめてください。

明瞭に受信できる場合

強制受信ボタンを押して2〜3日後に受信結果を確認してください。

明瞭に受信できない場合

AMラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。AMラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときには、手動で時刻を合わせてお使いください。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

※正しい時刻に対して時計の時刻が4分以上の遅れまたは進んでいる場合は、AMラジオ

の時報放送を受信できません。
ベランダなど屋外で強制受信ボタンを押して標準電波の受信に成功させるか、ラジオや電話の時報サービスなどを利用して手動で時刻を合わせてください。

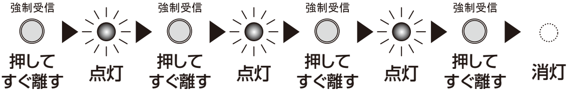
2. 標準電波が受信できない
受信表示ランプが5秒に1回点滅していれば、AMラジオ放送の受信に成功していますので、標準電波を受信できなくても正しい時刻を表示しています。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクオーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作をやり直してください。
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。



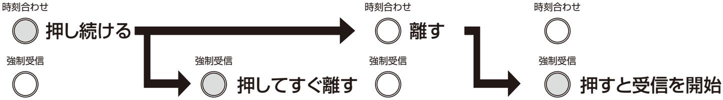
受信表示ランプが消灯したら電波受信機能OFFに成功です。
手動で時刻を合わせてください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



標準電波、AMラジオ放送とも受信できないときは、手動で時刻を修正してご使用ください。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

受信できない所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、時刻合わせボタンで時刻を合わせることができます。時間精度はクオーツ精度になります。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。

※**電波受信機能**がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。

☞（**Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作**）参照。

操作　**○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。**

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンが押されると秒針は停止します。

時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒に設定され、時間が経過して、**秒針が指している時刻になると秒針が動き出します。**

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針停止、受信表示ランプ消灯

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯して秒針を12時位置で停止させます。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

※受信中を除いて、明るい所で停止するときには、（**電池の交換時期お知らせ機能について**）参照。

時計の掛けかた

⚠ 注意　**掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ等）がしっかり掛かっていることを確認してください。

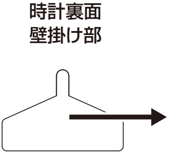
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

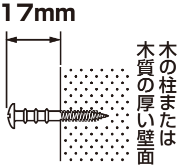
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

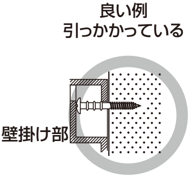
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

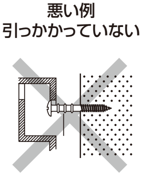
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- **付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。**
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。







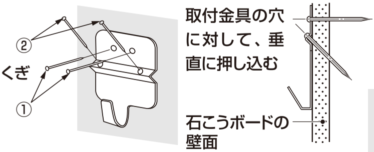


石こうボードの壁面の場合

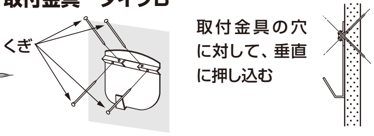
- **付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。**
- 取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかり固定してください。

取り付けかた **取付金具　タイプA**

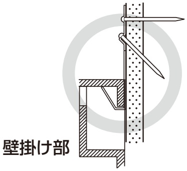
金具を水平にして①②の順序でくぎを押し込む。



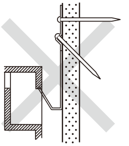
取付金具　タイプB



良い例
引っかかっている



悪い例
引っかかっていない



○壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
○付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
○取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
○くぎは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
○取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

ガラス飛散防止フィルムについて

本製品のガラスには、時計が落下したときなど、ガラスが割れた際にガラスが飛散しにくくするためのガラス飛散防止フィルムが貼付されています。

⚠注意 **ガラス飛散防止フィルムは、大きな破片を飛散しにくくするためのものです。細かい破片などはフィルムから剥がれ落ちて飛散することがありますので、落ちた破片でけがをされないよう、くれぐれもご注意ください。**

◎飛散防止フィルムはガラス表面に貼っているため、強く磨いたり、こすったりすると、フィルムが傷つく恐れがあります。
フィルムを傷つけると、飛散防止の効果が損なわれますので、お取扱いにはご注意ください。
また、お手入れの際は、柔らかい布などを使用して汚れを落としてください。

※飛散防止フィルムは、素材の性質上、貼付の際に細かい気泡が発生することがありますが、性能に関しては問題ございませんので、予めご了承ください。

電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換が必要になると、**明るい所でも秒針が12時位置で停止します**。時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[注)]時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してく

ださい。

注)ご使用状態により、この期間は前後します。

⚠ 注意　早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**強制受信**を押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

時間精度	電波受信成功直後の表示精度　秒針　±1秒　　時針/分針　目盛りに対して±3度 電波を受信しないとき　平均月差±20秒　(常温中のクオーツ精度)
使用温度範囲	−10℃ ～ 50℃　＊結露しないこと
推奨電池	単3形アルカリ乾電池　JIS規格 LR6　2個
電池寿命	約2年（標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止時間が7時間/日のとき）
受信機能ON/OFF	ボタン操作

手動時刻合わせ	ボタン操作で可能
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止
電池の交換時期お知らせ機能	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止
防滴防塵機能	なし
風防仕様	飛散防止処理ガラス

標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局/九州局　自動選択
受信回数	最少 1回/日、最多 6回/日 2時、3時、4時、12時、13時、14時の16分20秒に開始
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示

AMラジオ放送	毎正時の時報放送を受信して時刻を修正
受信周波数帯	518～1615kHz
受信時刻	0時、1時、2時、5時、6時、23時（時刻の約4分前から開始）
受信回数	最少 1回/日、最多 6回/日
受信期間	AMラジオ放送の受信を開始してから最長で約7日間

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　木ねじ　1個、　取付金具　1個、　くぎ　4本、　保証書　1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明　🛇は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告　死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

⚠ 注意　傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- ●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- ●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- ●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
  （例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池）　※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- ●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- ●買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

スリーウェイブとは

日本標準電波の40／60kHzにAMラジオ放送（時報）を加えた3つの電波で、時計の時刻を正確に保つための仕組みです。

AMラジオ放送の特長

日本各地に放送局があり、大きな出力で送信されております。標準電波が届きにくい所でも受信することが可能です。AMラジオ放送に対応することにより、この時計をお使いいただける範囲が広がりました。

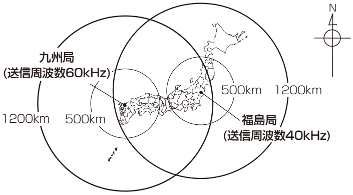
電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。**海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。**

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

標準電波が受信しにくい所

- ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- ●金属製の雨戸やブラインドの近く
- ●地下、ビルの中、ビルの谷間
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- ●朝夕の時間帯、雨天のとき
- ●家電製品やOA機器の近く
- ●スチール机等の金属製家具の上や近く

AMラジオ放送が受信しにくい所

- ●窓のないデパートのフロア
- ●大規模オフィスの窓から遠く離れた所
- ●ビルの地下および地下街
- ●家電量販店などノイズが多い所

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先
リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○

お客様相談室:0120-557-005　受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。